



環境市民としてともに行動しませんか ゆるさと狭山 そして地球のために

特定非営利活動法人さやま環境市民ネットワーク（略称：NPOさや環）

環境問題が深刻さと複雑さを増す状況のもと、「私たち市民一人一人が、環境に学び、環境を体験し、環境問題の改善に向けて行動する“環境市民”となり、環境にやさしいまち・暮らしの実現のため、主体的かつ積極的に行動していくこと」が求められています。

NPOさや環は、主に狭山市の市民・市民団体・事業者・行政が協働し、環境まちづくりを推進することにより、将来にわたり持続可能な循環型社会の構築に寄与すること」を目的として、平成19年8月に設立されました。環境保全活動は多岐にわたりますが、「緑の再生」、「川の再生」、「ごみ減量」、「温暖化対策」の4つの分野に照準をあわせ、精力的に活動をしています。ここではその概要をご紹介します。その趣旨にご賛同いただける方は、ぜひ環境市民として行動をともにしていただけたら幸いです。

NPOさや環は、市民・市民団体・事業者・行政が
協働して「環境まちづくり」を進めています



環境市民の交流・ネットワークづくりをめざして

NPOさや環では、環境市民の輪を広げ、ネットワーク化を進めるため、情報発信では、広報誌「さやか」の発行や「ホームページ」の管理運営を行っています。催し物では、狭山の環境の魅力を体感する「さやま環境ウォーク」の開催、環境について自由闊達に語り合う「環境サロン」や「環境まちづくり塾」を開催しています。

また、市と協働して「環境にやさしいライフスタイル講座」の開催や「環境月間や環境フェア」における展示、その他、「行政や議員との意見交換会」や環境団体のつながりを育む「環境団体交流会」などにも取り組んでいます。



里業をテーマに「環境まちづくり塾」



晩秋の堀兼の里を歩く「環境ウォーク」

ふるさとの緑を守り・育てるために（緑の分科会）

狭山らしい風景を支える雑木林は都市化により大幅に減少しています。この雑木林は江戸時代初期に新田開発によりできた歴史的な景観でもあります。この緑を“悠久の森”としてぜひ保全していきたいものです。また、緑を活かした住み心地の良いまちづくりにも積極的に挑戦していくことが望まれます。

<主な事業>

- ・市民ぐるみの緑の保全運動が実って指定された緑のトラスト9号地（愛称：緑のトラスト狭山、上赤坂の森の一角、約6ha）の管理運営、森林施業への参加協力
- ・森の体験、景観まちづくり、コミュニティガーデンなどに関わる「環境講座」の開催
- ・狭山らしい環境（景観）まちづくりに資する地域資源の掘りおこしとその活用策を考えるベースとなる「環境まちづくり資源マップ」の作成
- ・森林施業への参加協力など



雑木林と田園が織りなすたおやかな里



トラスト地におけるシイタケの駒打ち体験・森の会議場で森の手入れ後一休み

ふるさとの川・入間川の再生をめざして（川分科会）

狭山市は入間川をはじめ、小川、水路、湧水のある豊かな水に恵まれたまちでした。しかし、都市化の進行に伴う生活雑排水の流入などにより、生活の場から遠い存在になってしまいました。身近に心とせまる水辺があることは、豊かな生活環境として重要であり、清流が流れ、水遊びや憩いの場として親しめる「ふるさとの川」を甦らせ、まちと川のつながりを回復することが求められています。

<主な事業>

- ・入間川をフィールドにした入間川小学校や入間川東小学校における環境学習（体験・発表）への支援
- ・県、市、市民団体との協働により入間川の再生をめざす「入間川まるごと再生事業」への参加協力
- ・入間川に親しむ秋のイベント「灯の川」、河川敷にはびこるアレチウリ駆除作業、荒川流域の川の再生をめざした流域一斉水質検査への参加協力
- ・川を活かしたまちづくりに関わる「環境講座」、源流の間伐材を活かした「体験教室」などの開催



新富士見橋付近で進められている水辺再生事業



入間川での子供たちの地引網体験



用水路網も貴重なまちづくり資源

ごみゼロの狭山をめざして（ごみ減量分科会）

持続的循環型社会をめざすには、廃棄物（ごみ）の減少が不可欠です。それは、有限資源の最小化への一途となりますし、環境負荷の減少と環境容量の回復になります。そのために、人々がやれることは分別から3Rの励行を積極的に推進していくことです。それも全員参加で推進しなくてはなりません。ぜひ、みなさん、ぜひ一緒に活動しましょう。好き嫌いの問題ではなく、次世代のためにやらなければならない義務なのです。

<主な事業>

- ・ごみ減独自の広報紙「じゅんかん」の発行
- ・狭山市リサイクルプラザ展示コーナー等の運営、「各種体験学習」の開催
- ・リサイクルマーケットにおける「ごみ減対策」のPR
- ・各地の「ごみ減先進地区の研修・見学会」の開催
- ・資源循環推進課との協働による「マイバッグ持参運動」のPR
- ・その他、公民館などにおけるごみ減に関わる「環境講座」の開催



マイバック持参運動の展開



ごみ減に配慮したエコクッキング体験



体験教室の作品展

CO₂削減をめざして（温暖化対策分科会）

世界各地で猛暑、厳寒、渇水、洪水等の異常気象が頻発し、地球温暖化は確実に進行しています。温暖化の原因は人間の活動であり、私たち人間が止めるしかありません。私たちができることは、温暖化防止について多くの市民の意識を変えていくことです。

<主な事業>

- ・市民の浄財で、市民に見える形で、温暖化防止を実感していただく試みとして「マイタウンソーラー発電所」の建設を推進しています。平成22年度に1号機を、平成24年度に2号機を建設しました。私たちはさらに3号機の建設を計画中です。建設できる日当たりの良い屋根をご提供ください。また建設資金の支援をお願いしております。
- ・狭山市や商店街のお祭りには環境パネル展示やイベントを盛り上げるソーラーシャボン玉製造機やソーラーミニカー、ソーラークッカー、自転車のホイールを利用した水車の展示をして市民の皆様自然のパワーを感じて親しんでいただいています。
- ・毎年、夏冬毎に行われるエコライフDAYでは市内の小中学校及び高校・大学・一般に呼掛けて延べ2万人規模の参加による一日エコチェックを行い環境保全の大切さを実感してもらっています。



環境フェアに集まる子供たち



1号機東急入間川自治会館



2号機新狭山1,3丁目自治会館

分科会に参加しませんか

既にご紹介した緑分科会、川分科会、ごみ減量分科会、温暖化対策分科会では分科会のメンバーを募集しています。各分科会では毎月1回、会合をもち、事業計画の立案及び実施に取り組んでいます。ご関心のある方はぜひご参加ください。連絡先は下記のとおりです。

緑分科会リーダー：中島 功（電話&FAX：04-2957-5364）
川分科会リーダー：皆川健治（電話：04-2952-1204 FAX：04-2952-2965）
ごみ減量分科会リーダー：中川 泉（電話&FAX：04-2957-1479）
温暖化対策分科会リーダー：吉岡勇三（電話&FAX：04-2953-5704）

マイタウンソーラー発電所（3号機）建設にご協力下さい

平成22年度には東急入間川自治会館に1号機を、平成24年度には新狭山1丁目3丁目自治会館に2号機を建設しました。現在、3号機の建設を検討しています。建設できる日当りの良い屋根をご提供ください。また、建設資金の支援をお願いしていますので、ご協力ください。

寄付金 1口 1,000円（何口でも歓迎）

振込先 武蔵野銀行狭山支店 特定非営利活動法人さやま環境市民ネットワーク
口座番号（普通）1271780



第11回さいたま環境賞受賞!!

「英語でも楽しめるーさやま子ども環境カルタ」の販売

市内小・中学校の児童生徒から公募し、入選した読み札をもとに製作。読み札には英語が併記され、英語でもカルタ遊びが楽しめます。

市内の学校、さらには地域の学童保育室や子ども会などで活用されています。



- 販売場所：市役所1階の福祉の店「アミー」
- 頒布価格：1セット1000円

会員募集：皆様の入会をお待ちしています

年会費 正会員 個人：3000円、非営利団体：5000円、企業団体：10000円
賛助会員 個人：1000円、非営利団体：3000円、企業団体：5000円
振込先 東京三菱UFJ銀行狭山出張所 普通口座・口座番号 0004578
口座名義：特定非営利活動法人さやま環境市民ネットワーク

※会員数：166会員（正会員：69会員、賛助会員：97会員、（平成26年6月現在）

特定非営利活動法人さやま環境市民ネットワーク（略称：NPOさや環）

〒350-1331 埼玉県狭山市新狭山1丁目13番地（株ユース内）
代表理事 石田 嵩 電話：04-2953-2187 FAX：04-2953-6904

<事務局> 〒350-1304 埼玉県狭山市狭山台1-11-15 近藤 彰男
電話&FAX 04-2958-9932 携帯 080-1052-1282 Eメール：kondoa@pl.s-cat.ne.jp
●ホームページ <http://www.sayama-kankyo.org>

